2026年度 北見藤高等学校シラバス

〔教科〕 【科目】	〔数学〕 【数学探究】	3年	3単位	教科書		副教材等		履修対象・ 使用教室 等	3年グロリアコース

教科 ・ 科目 の 目標	(1)数学I・数学A・数学II・数学Bを範囲した入試問題に対する研究と解法の考察を通して、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。 (2)数学的対象が持つ性質を見出し，数式や図を用いて表現し、論理的に考察する力や判断する力を培う。 数学と人間の活動との関わりに着目し，現実的な事象について数学的モデリングを行うことで数理的に考察する力を養う。 (3)事象を数学的に考察することの良さを認識することを通して、数学のよさを認識できるようにするとともに，数学を活用する態度を育てる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 の 観点	数と式、二次関数、図形と計量を中心に数学Aや数学IIの内容に関する基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学的対象が持つ性質を積極的に見出し，論理的に考察する力や判断する力を培うとともに、数学と人間の活動との関わりに着目し，現実的な事象について数学的モデリングを行うことで数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

評価 方法	＊単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い，〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。 ＊単元などの観点別評価に基づいて，学習全体の総括的な評価を行ったものを「５段階の評定」とする。

評価 資料 ・ 評価 比重 〔100点換算〕	評価資料等	予定回数・内容等	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	授業内での取り組み	授業中に行う演習	30	30	
	確認テスト	ほぼ毎回、授業開始と同時に行います。	50	50	
	課題レポート	入試問題に対する課題レポート	20	20	
	姿勢	課題の提出、授業中の様子など総合的に評価します。			100
	〔観点別配分%〕	（３観点の比重を%で示しています）			

月進行 〔計画〕	【単元名】 学習項目名	配当 時間 〔計画〕	学習内容・目標（到達点） など	主な評価資料	評価の重み付け〔◎○〕 知・技	思・判・表	態度
前期	大学入試問題研究 基本的問題に対する探究	55	基本的知識の習得と応用力の育成する。 大学受験に向けた実戦力の醸成する。 Geogebraを用いた探究活動を通して、数学的対象に含まれる数学的構造に対する深い理解を図る。	授業内での取り組み	○	○	
				確認テスト	◎	◎	
				課題レポート	○	○	
				姿勢			◎
後期	大学入試問題研究 重要問題に対する探究 共通テストの探究と考察	50	基本的知識の習得と応用力の育成する。 大学受験に向けた実戦力の醸成する。 Geogebraを用いた探究活動を通して、数学的対象に含まれる数学的構造に対する深い理解を図る。	授業内での取り組み	○	○	
				確認テスト	◎	◎	
				課題レポート	○	○	
				姿勢			◎

学習の アドバイス	・教科書を中心に、内容の説明，例題の解説と問題演習を通して基本事項を理解し、問題解決能力を身につけること。 ・授業で扱った問題については必ず復習し，理解の定着を図ること。 評価は，(1)授業でのコミュニケーション活動への参加姿勢、(2)課題レポートに対する取り組みの状況、(3)授業への出席状況と取り組みの姿勢をもとに総合的に行います。 ※また主体的に学習に取り組む態度については、スタディサプリを用いた学習の取り組みも大きく考慮します。 各学期の成績を総合し，基準に到達すれば単位認定します。